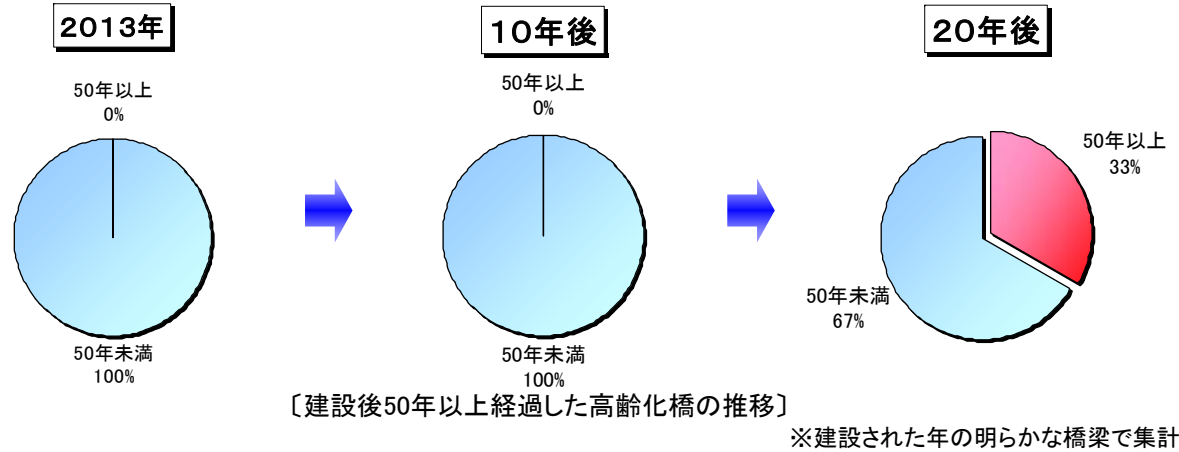


# 利根町橋梁長寿命化修繕計画

## 1 橋梁長寿命化修繕計画の目的

- ◆ 利根町は、現在169橋の橋を管理しています。これらの橋は今後、老朽化し、架替えにより財政負担が大きくなる懸念されています。「橋梁長寿命化修繕計画」は、予防的な修繕を行うことで、橋の延命化、予算の平準化、維持管理コストの縮減を図り、次世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を、将来にわたり確保することを目的として策定します。



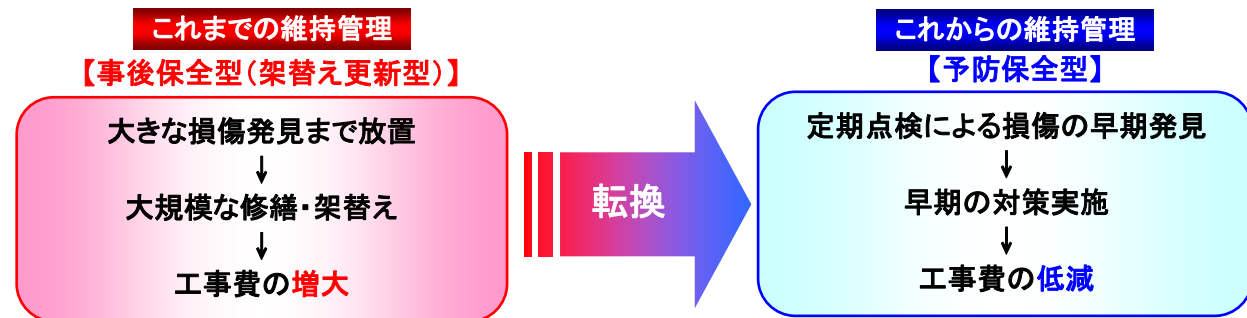
## 2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

橋梁長寿命化修繕計画は、橋長15m以上の橋とバス路線にかかる4橋を対象としました。

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
計画対象橋梁数	1	1	2	4

## 3 橋梁長寿命化修繕計画の内容

- ◆ 利根町では、平成25年度に橋の点検を行い、今後も5年間隔で点検を行うことで安全確保に努めていきます。
- ◆ 点検結果より橋の健全性の評価を行い、交差条件や路線の状況等に応じて橋の重要性を定め、計画的な修繕が行えるよう優先順位を決めます。
- ◆ 橋の損傷が深刻化してから大規模な修繕や架替え更新を行う対症療法的な事後保全型管理から、損傷が深刻化する前に計画的な修繕を行う予防保全型管理へ転換し、橋の長寿命化を図るとともに、修繕に係わる費用の縮減を図ります。

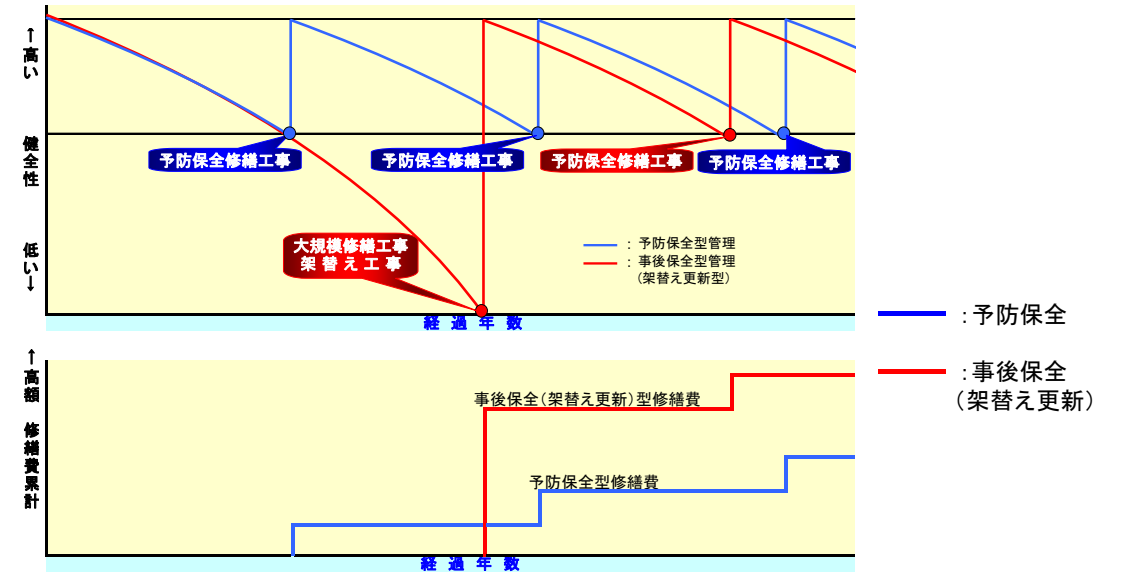


- ◆ 一定期間の橋の維持管理にかかる費用であるライフサイクルコスト(LCC)の試算を行い、予防保全型の維持管理へ転換した場合の効果を確認します。

## 4 橋梁長寿命化修繕計画による効果

### 【橋の長寿命化と高い安全性の確保】

- ◆ 計画的に修繕を行う予防保全型管理の橋は、大きな損傷が発見されるまで修繕を行わない対症療法的な事後保全型管理の橋に比べて、長寿命化が図れます。
- ◆ 対症療法的な事後保全型管理は、大きな損傷が発見されるまで放置されるため、危険な状態が続きます。予防保全型管理では、早期の対策を実施するため、高い安全性が図れます。



### 【予算の平準化】

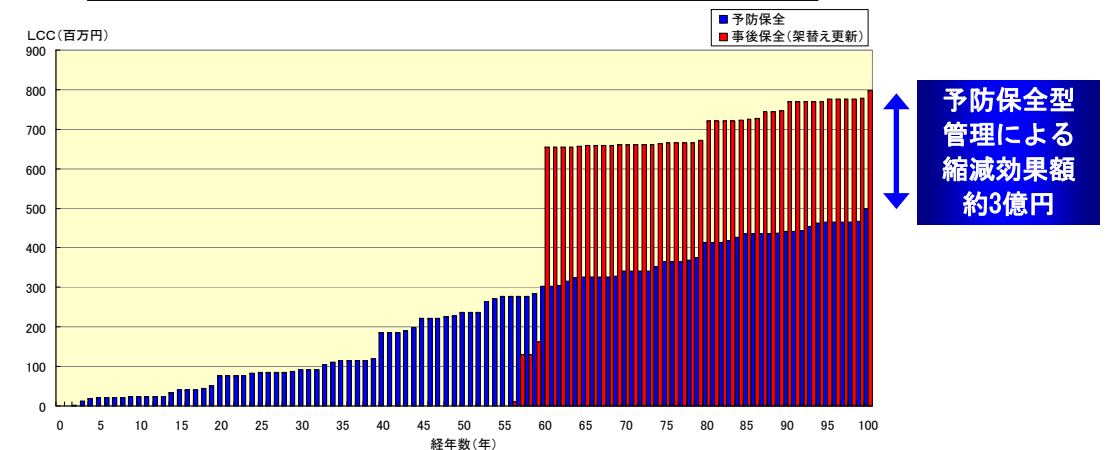
対症療法的な事後保全型管理では大規模な修繕・架替え更新を行うため、単年度の事業費が大きくなります。予防保全型管理により計画的に修繕を行うことで、予算の平準化が図れます。

### 【ライフサイクルコストの縮減】

計画的に修繕を行う予防保全型管理は、大規模な修繕や架替え更新によって工事費が大きくなる事後保全型管理よりもライフサイクルコストの縮減が図れます。 → **縮減効果額は約3億円となります**

	事後保全(架替え更新)管理	予防保全型管理
対象橋梁の100年間のLCC合計	約8億円	約5億円

予防保全と事後保全(架替え更新)の累計ライフサイクルコスト



## 5 助言を頂いた学識経験者

学識経験者 : 筑波大学 システム情報系 構造エネルギー工学域  
准教授 庄司 学 博士(工学)

計画策定担当部署 : 利根町 都市建設課 TEL 0297-68-2211